様式第７号（第21条関係）

番　　号

令和　8年　6月　25日

佐賀県県民協働課長　様

住　　所 鳥栖市河内町字谷口2212-2
団　　体　　名 特定非営利活動法人　市村自然塾 九州
代表者職・氏名 代表理事　泉　俊彦
電　話　番　号 0942-82-5211

佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和7年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「ＮＰＯ等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第１項の規定により提出します。

様式第７号（第21条関係）別紙

令和7年度 佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

１　団　　体　　名　：　特定非営利活動法人　市村自然塾 九州

２　事　業　実　施　期　間　：　令和　7年　4月　1日　から　令和　8年　3月　31日

３　事　業　の　背　景　（※事業計画書から転記）

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像 基本理念「生きる力を大地から学ぶ」を柱とし、自ら考え、知恵を働かせ、仲間と協力しながら、以下の活動を中心に子どもたちの成長支援に資する。 ①農業体験 食べ物の大切さと食育、勤労の大切さ、努力して得られた達成感と喜びの会得。 ②自然体験 自然への畏敬の念や安全危険を察知する感性の育成。 ③共同生活 自ら進んで取り組み、相手や全体に貢献する喜びを得る。 互いの意思を伝え合うことでコミュニケーション能力を高め、相互理解を深めながら一人ひとりの考え方の多様性を認め合うことができる。

４　事　業　の　成　果

①県民の便益にどのようにつながったのか 小学4年生から中学1年生を対象に、農作業や自然体験、共同生活の3つをメインに活動を行った。特に農作業では、単に収穫のみを体験するのではなく、種まきから除草作業・害虫対策など様々な工程を経て収穫に至るという通年での取り組みとした。それにより食べ物の大切さや勤労・努力して得られた達成感を体験した。また、異学年で構成したチーム単位で行動し子ども同士で触れ合うことにより、コミュニケーション能力の向上を図り、自ら考え行動し課題を達成していく力をもった人間力を育むことにつながった。
②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

５　寄 附 金 活 用 事 業 実 績　：　（別記１）

６　次年度繰越額活用見込み　：　（別記２）

７　寄　附　金　活　用　額　：　（別記３）

（別記１）寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 ［単位：円］	うち寄附金 活用額 ［単位：円］
通年型 自然体験活動	①青少年の健全育成 ②小学4年生～中学2年生(男女 各18名) ③農業を中心とした自然体験活動 宿泊・日帰り活動を男女各15回	①令和7年4月1日～ 令和8年3月31日 ②佐賀県鳥栖市 河内町 市村自然塾 九州 塾舎及び周辺	28,612,355	1,698,760
計			28,612,355	**1,698,760**

（別記２）次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 （予定） ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 （見込み）	事業費の 支出見込み額 ［単位：円］	うち寄附金 活用見込み額 ［単位：円］
計			0	0

（別記３）寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額　…　①（＝Ａ＋Ｂ）			**1,728,900**
（内訳）	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額　…　Ａ		1,728,900
		本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	1,728,900
		前年度控除額（県事務経費）還付分	0
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額　…　Ｂ		0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額…　②（＝a＋b）			**1,728,900**
（内訳）	事業に活用した寄附金額　…　a		1,698,760
	ふるさと納税の募集に要した費用の額　…　b		30,140
		返礼品等の調達に係る費用	0
		返礼品等の送付に係る費用	0
		広報に係る費用	0
		事務に係る費用	30,140

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額　…　③（＝①－②）	**0**

■直近の収支報告書掲載箇所（ホームページURL等）

https://www.szj-k.com/